

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
405	通時英語学研究 <Studies in English Diachronic Linguistics>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
英語学	柳 朋宏(YANAGI Tomohiro)		前期	金曜：3限
講義題目 Title	History of English			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	英語学もしくは言語学の基本事項について既習であることが望ましいが、未習であっても構わない。			
授業の目的 Purpose	<p>フ `リテン島に伝わった頃の「英語」についての理解を深め、その後現代の「英語」へと `のように変化したかを学習する。英語を通時的に観察することで `、現代英語における不規則性が `何故生し `たのかを概観する。今学期は特に「古英語」の文法について学習する。</p> <p>This course introduces some basic grammatical rules of Old English to participants and overviews 'irregularities' observed in Present-day English from diachronic point of view. At the end of this course participants are expected to understand the English spoken in Britain about 1000 years ago and explain how English has developed during its history from Old English to Present-day English.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>授業は演習と講義を通して行い、以下の内容を取り上げ `る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.450年から1100年の英語の形態的・統語的特徴</li> <li>2.450年から1100年の「英国」における社会的・文化的背景</li> <li>3.英語における形態的・統語的・音韻的变化</li> <li>4.現代英語における「不規則性」の「規則的」な要因</li> </ol> <p>初回の授業時に授業方法や評価基準等について説明を行うので `、受講希望者は必ず `出席すること。</p>			
教科書 テキスト Textbooks	教科書は使用しない。 授業毎にハンドアウトを配布する。			
参考書 References	<p>A.J. Hamer &amp; Joyce Bazire Language Laboratory Course in Old English, Liverpool UP. 市河三喜・松浪有『古英語・中英語初歩』研究社、東京。 家入葉子『ヘ `ーシック英語史』ひつじ書房、東京。 フィリップ `・ク `ッテ `ン著『物語 英語の歴史』悠書館、東京。 中尾俊夫『英語の歴史』講談社新書、東京。 中島文雄『英語発達史[改訂版]』岩波書店、東京。 寺澤盾『英語の歴史 過去から未来への物語』中公新書、東京。</p>			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	毎回新しいことを学ぶ授業なので、復習に力を入れること。 試験前の「詰め込み」は絶対にしてはいけない。			

成績評価の方法と基準 Evaluation	<p>評価方法 出席状況・小テスト・定期テスト・課題を合わせて総合的に評価する。 ただし、授業を(特別な理由なく)2回続けて休んだら、学期中に4回以上欠席した場合は不可とする。</p> <p>評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・古英語の形態的・統語的特徴について具体例をもって解説できること。</li><li>・古英語/現代英語の書き換えかいてできること。</li><li>・古英語期における社会的・文化的背景について理解していること。</li></ul>
連絡方法 Contact information	初回授業時に連絡する。